

土壌の採取・調整

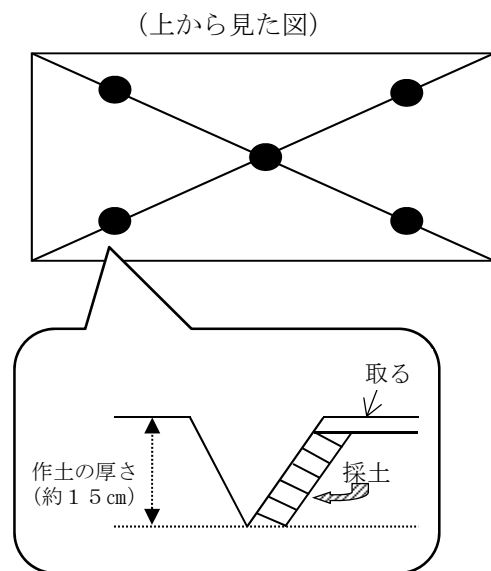
1. 土の採取

(1) 採取する時期

原則として収穫後～施肥前に採取します。

(2) 採取する箇所

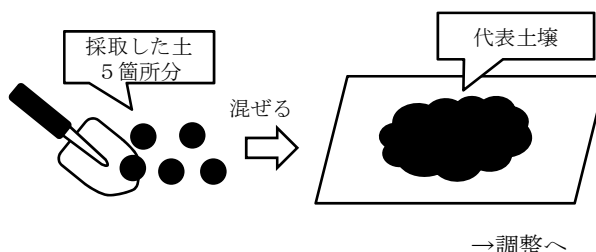
①水田土壌・畑土壌（施設を含む）



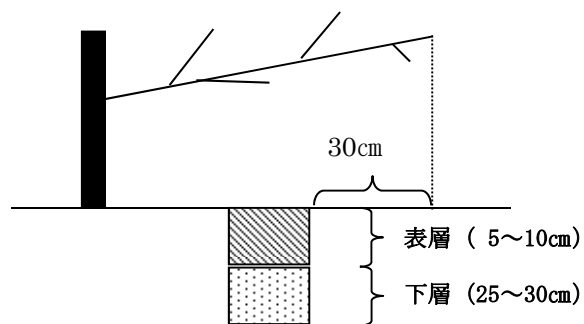
左図のように対角線上の5箇所の地点を選び、そこから土壌を採取します。

表面の土（1～2 cm）は取り除きます。
V字形の穴を掘り、穴の斜面に沿って一定の厚さを掘り取ります。

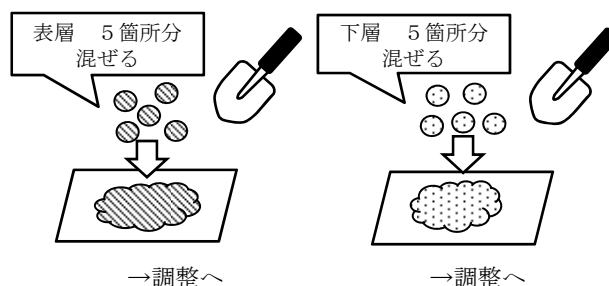
採取した土壌を混ぜたものを代表土壌とし調整します。



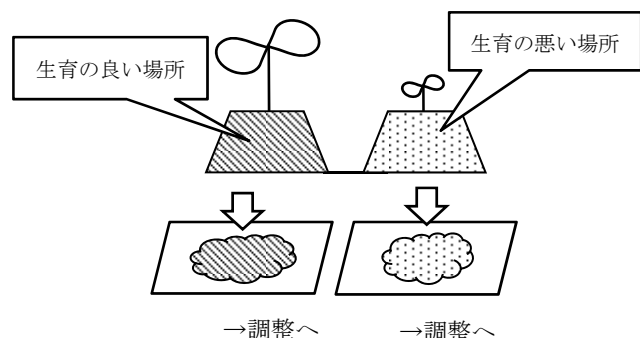
②果樹園



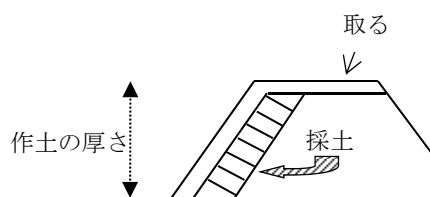
代表的な樹5本を選びます。
枝の先端から30cm内側の土を採取します。
（或いは株元から2m外側の土）。
表層・下層それぞれを別にして両方採取します。



③生育に差のある場所 (畝のある場合)



生育に差の認められる不良株、良好株の株元で根域圏、或いは下図のように土壌を採取します。



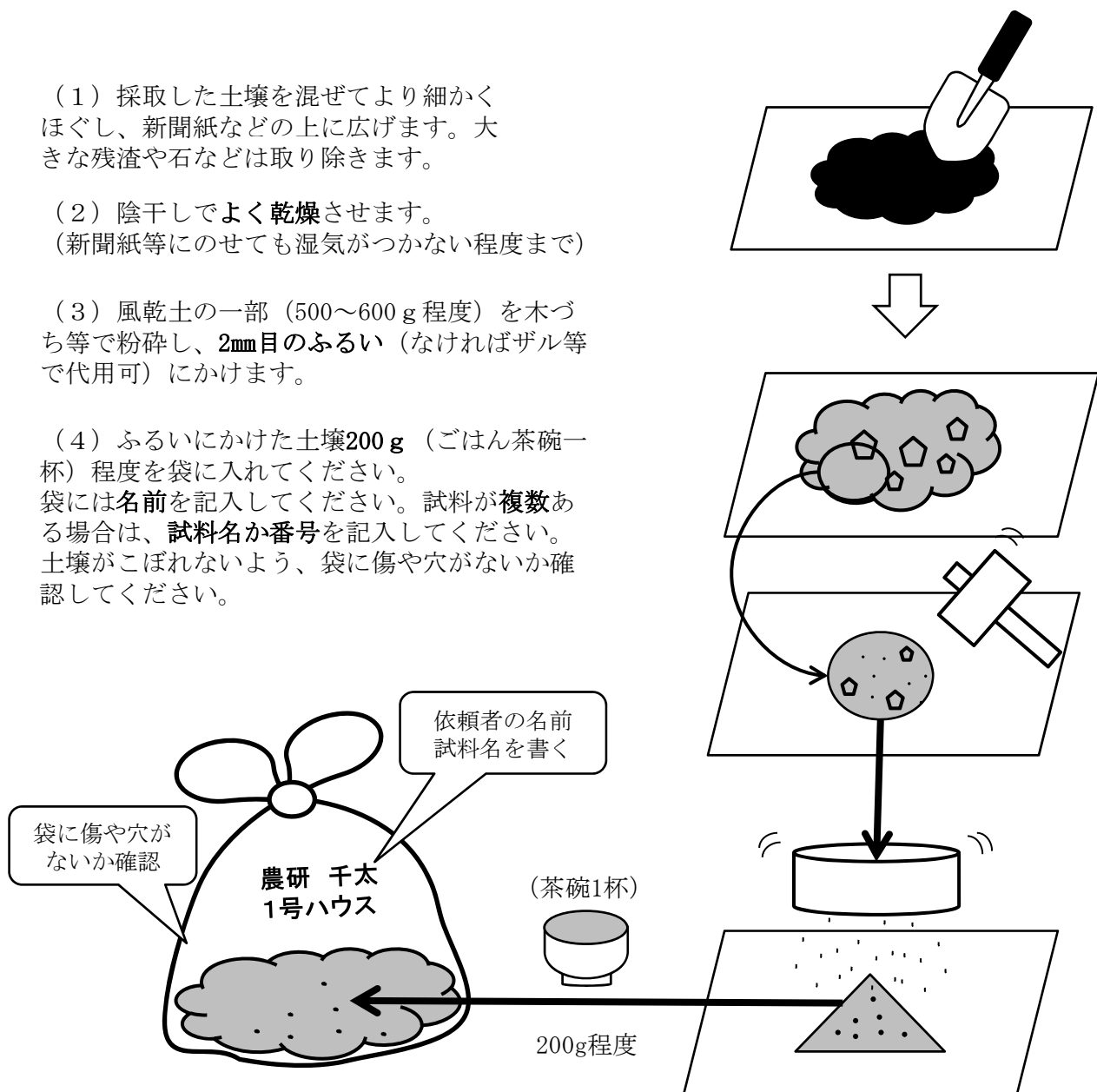
2. 採取した土の調整

(1) 採取した土壌を混ぜてより細かくほぐし、新聞紙などの上に広げます。大きな残渣や石などは取り除きます。

(2) 陰干しでよく乾燥させます。
(新聞紙等にもせても湿気がつかない程度まで)

(3) 風乾土の一部(500～600 g 程度)を木づち等で粉砕し、2mm目のふるい(なければザル等で代用可)にかけます。

(4) ふるいにかけた土壌200 g (ごはん茶碗一杯)程度を袋に入れてください。袋には名前を記入してください。試料が複数ある場合は、**試料名**か**番号**を記入してください。土壌がこぼれないよう、袋に傷や穴がないか確認してください。



！ 土壌の持込み前に確認！

チェック✓

- ☐ 土はしっかり乾いている
- ☐ 残渣や肥料の粒、大きな土の塊が入っていない
- ☐ 持ち込む土の量は200g(ごはん茶碗一杯)程度
- ☐ 土を入れた袋に名前と試料名(番号)が書いてある

円滑で正確な分析のため、調整作業にご協力をお願いします。